

# 新たな産業用地をお探しの皆様へ

## 【伊賀市について】

伊賀市は、大阪、京都、奈良や伊勢を結ぶ3つの街道を有し、古来より都（飛鳥、奈良、京都など）に隣接する地域として歴史を重ねてまいりました。世界的に有名な忍者（NINJA）、松尾芭蕉（Basho、HAIKU）、お能の故郷として文化が薫るまちであり、国内外の多くの方々が興味を持たれ、訪問されるまちです。

産業立地の面では関西・中京の2大経済圏の中間に位置しており、輸送にとって重要な道路インフラとして名阪国道が市内を横断し、関西・中京をつなぎ、無料で利用することができます。加えて北方面には新名神高速道路まで約30分とアクセスが充実しています。

また、課題となってる南海トラフ地震による津波のリスクは僅少です。  
ご意向により、具体的な開発計画を進めていくことになります。

## 伊賀グリーンファクトリー（新産業用地）の基本計画

**立地するメリット！**

- 1、交通アクセスが良好
- 2、災害に強い  
(津波の心配なし)
- 3、工業が盛ん  
(工業製品出荷額県内第6位)
- 4、自然が豊か
- 5、立地に対する奨励金制度



所在地 三重県 伊賀市 市部 地内

(名阪国道友生ICから約5km)

規模 ①エリア 約20ヘクタール (現状山林)

②エリア 約10ヘクタール (現状山林)

完成見込 開発事業者の事業着手から約3年 (事業化推進中)

宅地区画割未定 (オーダーメイド可)

価格 未定

用途区分 都市計画区域内

区域区分なし (非線引き)

用途指定なし (条例による土地利用規制)

建ぺい率 60%、容積率200%

※近隣工業団地 (ゆめぼりす伊賀クリエイトランド) から約1.5kmの距離で企業同士の連携が可能

お問い合わせ先

伊賀市 建設部 企業用地整備課

〒518-8501

三重県伊賀市四十九町3184番地

TEL 0595-22-9727 / FAX 0595-22-9724

E-mail: kiseibi@city.iga.lg.jp



(伊賀市HP)

伊賀市 産業用地情報

検索

# 伊賀市の位置について (広域図)



交通アクセス	
大阪 ⇄ 伊賀 車: 約70km / 約80分	伊賀 ⇄ 名古屋 車: 約85km / 約80分
東京 ⇄ 伊賀 新幹線(東京~名古屋): 約100分 在来線(近鉄、伊賀鉄道): 約140分 合計 約240分	(東京~名古屋) 東京 ⇄ 伊賀 <b>約3時間</b> (1時間短縮)
(参考) リニア亀山駅の場合: 東京~亀山 50分、亀山~伊賀(車) 35分 合計 約85分 (通勤圏も将来的には可能性あり)	

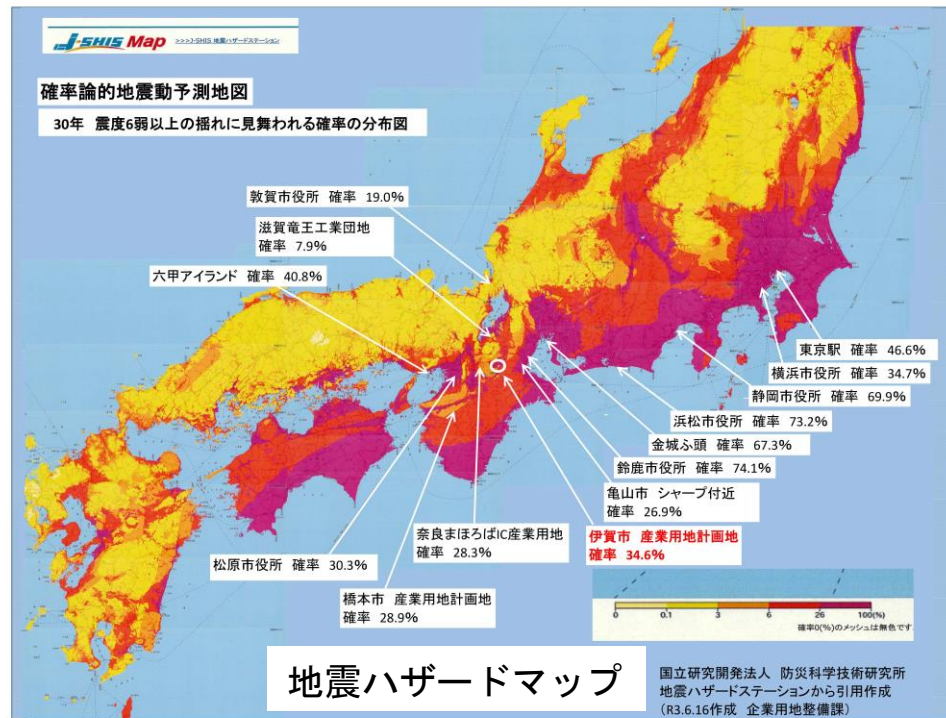
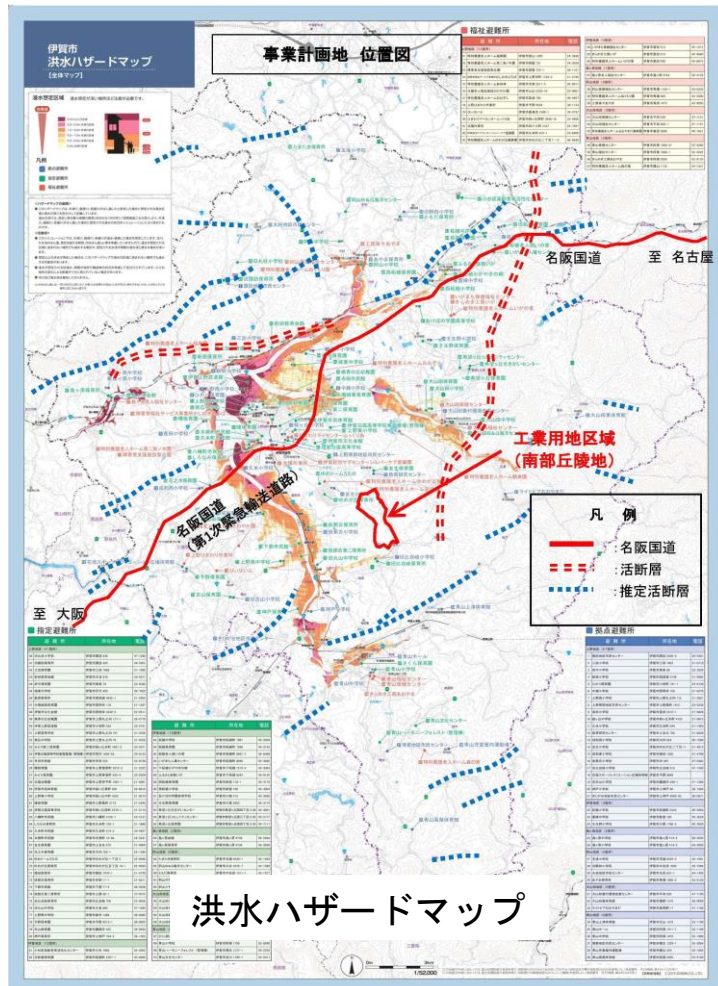
- 紀伊半島の中央に位置し、関西・東海圏へのアクセスも良好な位置にあります。
- 東西に貫く**名阪国道(天理~亀山、73.2km、自動車専用道路)**は無料区間となり、物流コストの削減につながります。
- 北には新名神高速道路が位置し、約30分でアクセスできます。
- 今後、名神名阪連絡道路の計画も推進され、さらなるアクセス向上が見込まれます。
- 関西国際空港・中部国際空港の利用圏であり、両空港の選択が可能です。

(資料引用元)

- ※1 北勢国道事務所管内図使用
- ※2 県内総生産 (H30分、内閣府HPより)
- ※3 名阪国道交通量 (H27全国道路・街路交通情勢調査より)
- ※4 港湾取扱貨物量 (H30港湾統計より)

# 計画地の災害リスク（地震・洪水・津波）について

近年頻発する風水害や地震の面においては、当計画地ではリスクは軽減されております。（必要があればA3版資料等提供いたします。）  
伊賀市は内陸に位置し、南海トラフ地震による津波被害の可能性はありません。また、豪雨等による洪水についても計画エリアでは心配ありません。災害等におけるリスクの事前回避はBCP（事業継続計画）を検討する中で大きな要素と考えます



## 【評価】

- ・計画地は活断層、推定活断層とも影響は少ないと考えます。
- ・地震発生リスクは沿岸部と比較すると低くなります。
- ・南海トラフ地震による津波のリスクはありません。
- ・洪水による浸水のリスクはありません。



## 【計画地の現状について】

- ・計画地は丘陵地であり、高低差は少ない。
- ・現況は山林。
- ・アクセス道路は両側歩道で幅員12メートルを確保しています。
- ・周辺は森林に囲まれ、自然に恵まれた環境を有します。
- ・名阪国道友生ICから約5キロメートルの好立地となります。

# 当市の産業の状況

## 伊賀市の産業構造の特徴

- ・伊賀市は人口約8.9万人に対し、製造品出荷額約8,000億円であり、基幹産業が製造業の内陸型の工業地域といえます。
- ・全従業員の約41%が製造業に従事しております。

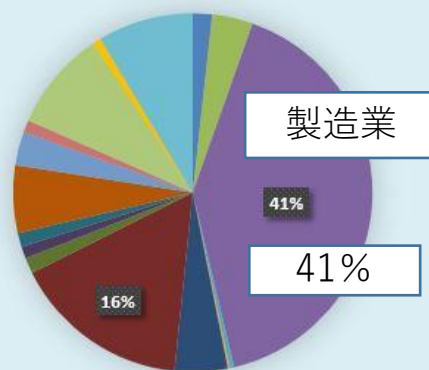
## 製造品出荷額

**全国88位（1658自治体）**  
**三重県内6位（29市町）**

### 産業関連データ


人口	87,139人（伊賀市HP,R4.12.31）
面積	558.23km <sup>2</sup>
事業所数	4,014社（2016年）
うち、卸売業・小売業	1,022社（2016年）
うち、製造業	609社（2016年）
従業員数	47,086人（2016年）
うち、卸売業・小売業	7,528人（2016年）
うち、製造業	19,257人（2016年）
製造品出荷額	79,248,038万円（2019年）
	※ RESUS調べ


### 伊賀市で働く従業員の構成(人)




## 伊賀市のトピック

・経済産業省の補助事業「データセンター事業実施可能性調査」に**全国10自治体の1つ**に選ばれました。デジタル社会に向けたインフラ整備として積極的に誘致します。

・**伊賀市企業誘致WEBセミナーを実施**。HPで公開しております。是非ご覧ください。（企業用地整備課）

・「**住みたい田舎ベストランキング**」で伊賀市が6年連続**三重県内第1位**に選ばれました。 Instagram

・**伊賀流空き家バンク**のホームページリニューアルによるバーチャル内覧、動画配信を取り入れたことにより、**移住・転住希望の利用登録者が急増**し、注目を集めています。（伊賀流空き家バンク）

・ユネスコ無形文化遺産「**上野天神祭のダンジリ行事**」が秋に行われます。



・「**勝手神社の神事踊**」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。「上野天神祭のダンジリ行事」につづき**2つ目**です。

